

本願寺 御歴代門主シリーズ

その二十二

本願寺第二十三代宗主 勝如(しようによ)上人(大谷光照前門主)

(一九二一年～二〇〇二年)

勝如上人は一九二一年(明治四十四)年十一月一日に誕生されました。一九一四(大正三)年に第二十二代鏡如(ききょうによ)上人が門主職を引退され、その弟の光明(こうみやう)新門は門主への就任を辞退され、光照(こうしょう)新々門が法灯継承者となりました。

その後、一九二七(昭和二)年に十五歳で得度され、第二十三代門主の法灯を継承されました。

勝如上人は一九三八(昭和十三)年より国内教区のご巡教を始められました。第二次世界大戦という急迫する時局のなかで、大変な苦勞の日々でありました。

戦後は、一九四七(昭和二十二)年より組巡教を開始され、一九六七(昭和四十二)年には全組を巡教にされました。

ご法要においては、一九四八(昭和二十三)年に蓮如上人四百五十回遠忌法要、一九六一(昭和三十六)年に親鸞聖人七〇〇回大遠忌法要、一九七三(昭和四十八)年に親鸞聖人御誕生八〇〇年・浄土真宗立教開宗七五〇年慶讃法要など、数々の大法要を勤修され、教化面においては、一九五八(昭和三十三年)に「浄土真宗の生活信条」、一九六七(昭和四十二年)には「浄土真宗の教章」を制定発布して念仏者の歩むべき道を平易に明らかにされました。



本願寺第二十三代宗主 勝如(しようによ)上人

その他、一九六九(昭和四十四)年に大谷本廟を整備し、無量寿堂(仏壇式の納骨堂)を造営されました。

また、対外的には、全日本仏教会会長、日本教誨師連盟総裁、日本仏教保育協会名誉会長、全国青少年教化協議会々長などの役職を担われました。一九七七(昭和五十二年)、六十五歳になられた上人は、在位五十年を期に本願寺派門主を退任され、現門主である即如(そくによ)上人に法統を継承されました。引き続き前門主として国内外各地へのご巡教、殊に西ヨーロッパ各国への伝道に励まれるなど、真宗の興隆に尽力なされましたが、二〇〇二(平成十四)年六月十四日にお浄土にご往生されました。

※参考文献 福間光超著 「親鸞聖人と本願寺の歩み」(永田文昌堂)

今後の法要スケジュール

「報恩講」(善教寺本堂)

十二月 二日(火) 朝席：午前十時、
昼席：午後一時半

講師 天野真隆師(兵庫県揖保郡善導寺)

*送迎マイクロバスを運行します。

*お接待当番地区 中郷地区

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要(善教寺本堂)

十二月 十六日(火) 午後一時半

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「除夜会」(善教寺鐘楼堂)

十二月三十一日(水) 午後十一時四十五分

*鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

「元旦会」(善教寺本堂)

一月 一日(木) 午前七時

「御正忌法要」(善教寺本堂)

一月 十日(土) 朝席：午前十時、
昼席：午後一時半

講師 根来智師(呉市阿賀北宝徳寺)

*送迎マイクロバスを運行します。

ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://www.otera.or.jp/> メール zenkyo@otera.or.jp

